

# 訪日外国人の増加に伴う日本の変化

熊本県立東稜高等学校

## はじめに

様々なメディアの外国人増加を報じるニュースや外国人へのインタビューなどを見るが多くなった。また、実際に街を歩いてみても外国人や外国人へ向けた施設を見るが多くなってきたように感じる。そんな訪日外国人が年々増えている日本では外国人からどのような影響を受け、どのように変化していただろうか。

## 研究テーマを選んだ理由・動機

私は将来観光に関わる職業に就きたいと思っています。訪日外国人の数がコロナ前に戻つつある今、これからの日本に、外国人がどのような影響を与え、そのことで日本はどのように変化し、私達がすべきことや考えるべきことは何かということを知りたいと思ったから。

## 仮説

(現状)街中やテレビで見かける外国人の数が増えている

→(仮説1)日本を訪れたいと思っている人が今後も増え続け、10年後には現在の5倍程度になっているのではないか

(現状)外国人の増加で、外国語を使う機会が増えた

→(仮説2)外国人に情報が正しく伝わるように、コミュニケーションの方法が進化するのではないかと

(現状)熊本県にTSMCが作られる

→(仮説3)日本を訪れる台湾の方が増えるのではないかと

(参考文献)インバウンドからみた経済効果とは？ deval/インバウンドの定義—外国人観光客が増える日本経済 杉野祐弘  
(参考文献)観光力が高まる熊本県産品の魅力 中島孝司 <https://www.kankokyo.com/>

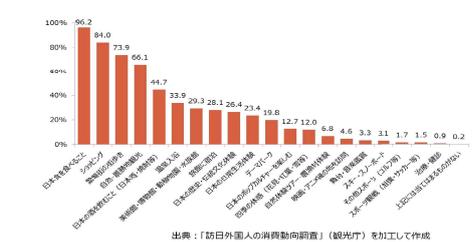
## 仮説1の調査

訪日外国人旅行者数・出国日本人数の推移



参考文庫)国土交通省 観光庁 [https://www.mlit.go.jp/funkankochosiryoyu/tokei/in\\_out.html](https://www.mlit.go.jp/funkankochosiryoyu/tokei/in_out.html)

### ■ 今回の日本滞在中にしたこと



出典：「訪日外国人の消費動向調査」(観光庁)を加工して作成

## 調査

熊本城、城彩苑、サクラマチで外国人を探して、インタビューをし、訪日外国人がどこから来ているか、何を目的にしているのか、日本で感じたことなどを聞いた。

また、街全体の印象や外国人の数の変化を捉えた。そのために、事前に自分の仮説を元にインタビューの内容を考えておき英語に訳しておいた。



<出身>  
オランダ  
<目的>  
観光  
<日本でしたこと、  
感じたこと>  
日本(熊本)ならではの食べ物や豊かな自然を楽しんだ



<出身>  
オーストラリア  
日本在住(10年)  
<日本でしたこと、  
感じたこと>  
日本の安全性や清潔なところが好き。日本の環境は子供の成長にとっても良い

## 仮説2の調査



熊本県内で、熊本城や城彩苑で外国人向けの看板や張り紙を探してみましたが見当たりませんでした。

## 考察<仮説1より>

訪日外国人は年々右肩上がりで増え続けている。今までの推移から推測する限り、今後も増え続け、10年後には5倍程度増えていると考えられる。また、外国人観光客の旅の目的は日本ならではの食べ物を食べることや、物を買うこと、体験をすることなので、外国人観光客が年々増加するに伴い外国人による日本への経済的影響も増加し、成長していく。その反面、外国人によるルールやマナー違反によって日本人が不満を感じる場面も増えてきている。

## 考察<仮説2より>

外国語に対応した標識や言語関係なく伝わるピクトグラムのようなものがまだ少ないこと、表示されている標識も外国人には伝わりにくいものであることが課題である。

また、外国人にインタビューをしたところ、いきなりインタビューかつ拙い英語にも関わらず快く答えて下さった。つまり日本でのコミュニケーションにおける課題は、コミュニケーションの方法ではなく、そもそも日本人がコミュニケーションを積極的に取ろうとしないことである。

## 考察<仮説3より>

今回、熊本城や城彩苑で調査をして見たところ、中国やベトナムなどアジア系の方が多かった。

また、国に関わらず、20代30代くらいの若い方が多くみられた。訪日外国人の目的は観光以外にも日本で働くためという人もいた。つまり、日本の外国人労働者の数も増え、様々な施設で外国人への配慮が増し、日本はより外国人が過ごしやすい環境へと変化していく。

## 結論・まとめ

外国人観光客は毎年増えており、それに伴い外国人へ向けたサービスも増えている。その結果日本の経済は大きく成長しているが、日本人が不満を感じる場面も増えている。外国人の日本での経済活動を減らすことなく日本人も外国人も心地よく日本での生活を送るためには日本人が外国人を受け入れる態勢を十分に整える必要がある。その一つとして私達は、外国語に対応した標識の設備を整えることや守ってほしいルール、マナーを直接伝えられるようになるべきだと思う。

また、今回外国人の方に直接インタビューをしたところ、経験の少なさゆえに緊張で事前にインタビュー内容を考えていたにも関わらずうまく話せなかった。しかし、外国人の方はいきなりかつ拙い英語でのインタビューにも関わらず快く答えて下さった。つまり外国人との壁を超えるためには英語能力も大事だがコミュニケーションをとろうとすることが最も大事である。これからの日本は増加していく外国人の影響に振り回され「変化してしまう」のではなく、対応して「変化していく」ことが重要になってくるのではないだろうか。